

## 高速道路を緊急避難階段、緊急連絡路等として 活用するための各市町との協議を開始しました

### 【概要】

今世紀前半にも発生の恐れがあるとされる「東海」「東南海」「南海」地震に伴い、平成23年10月に三重県が公表した地震による津波浸水域（速報版）では、三重県東紀州沿岸地域の多くが浸水すると予測されています。

そのため、紀勢国道事務所では、津波発生時の緊急避難や被災後の効率的な支援活動や交通の円滑な誘導などを図るため、現在整備中の紀勢自動車道や熊野尾鷲道路において、高速道路の道路管理用施設を緊急避難階段、緊急連絡路等として活用するための各市町との協議を開始しました。

### 【ポイント】

東日本大震災では、津波を考慮して高台に計画された高速道路が住民避難や復旧のための緊急輸送路として機能しました。

#### 「東海」「東南海」「南海」地震に向けた防災対策

##### ◆緊急避難階段への活用

・比較的高い位置にある道路へ避難できるように、緊急避難階段として活用します。

##### ◆緊急連絡路への活用

・周辺道路と接続させる緊急連絡路として活用します。

##### ◆緊急避難所への活用

・比較的高い位置にある道路管理用の敷地を一時避難所、支援拠点、地域住民を避難させるための避難場所として活用します。

【資料】 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の緊急避難階段等への活用・・・別紙1  
現在整備中箇所の写真、市町村との協議写真・・・別紙2  
東日本大震災で三陸縦貫自動車道が果たした役割・・・別紙3

【解禁】 指定なし

【配布先】 県政記者クラブ、松阪記者クラブ・尾鷲記者クラブ、熊野記者会

【問い合わせ先】 国土交通省中部地方整備局 紀勢国道事務所

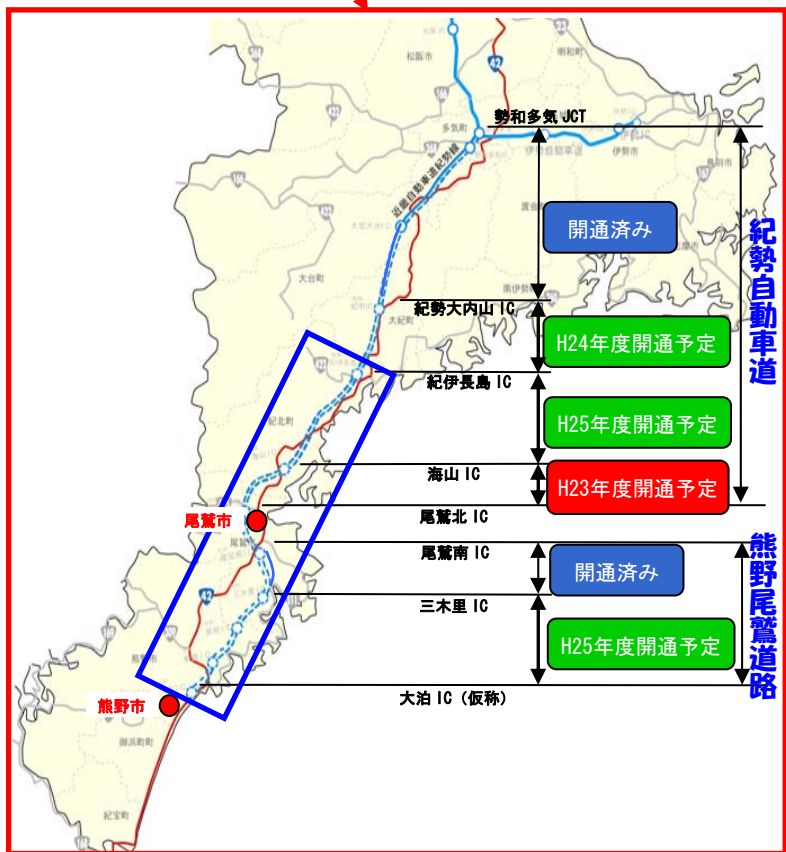
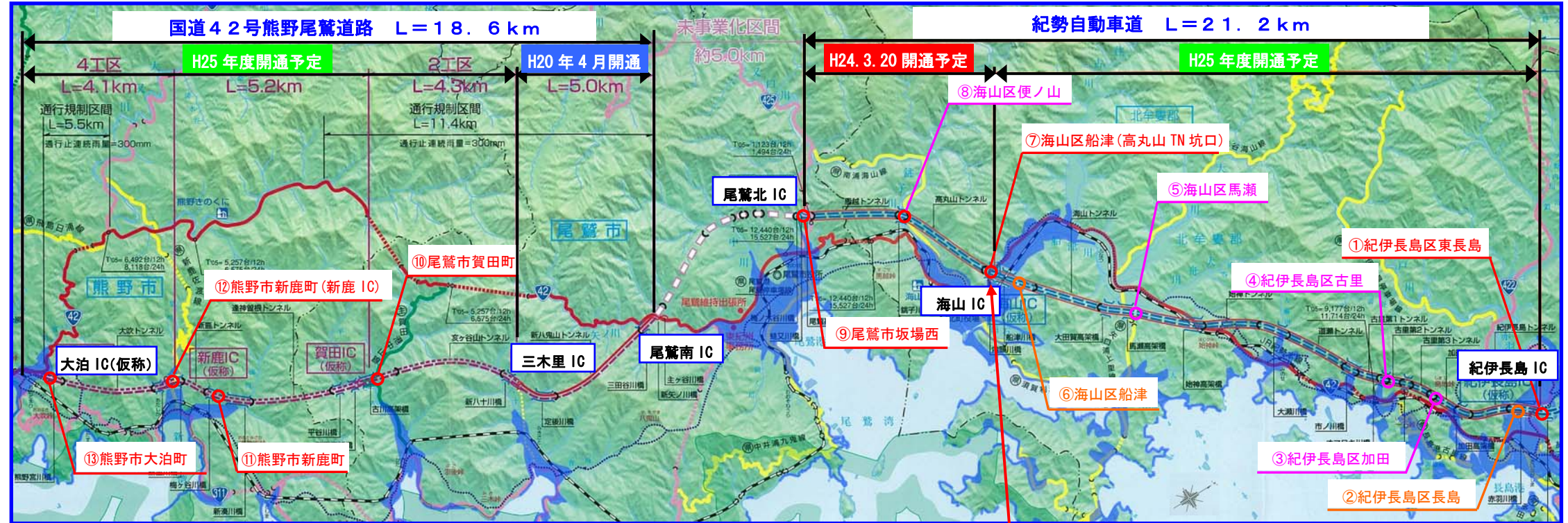
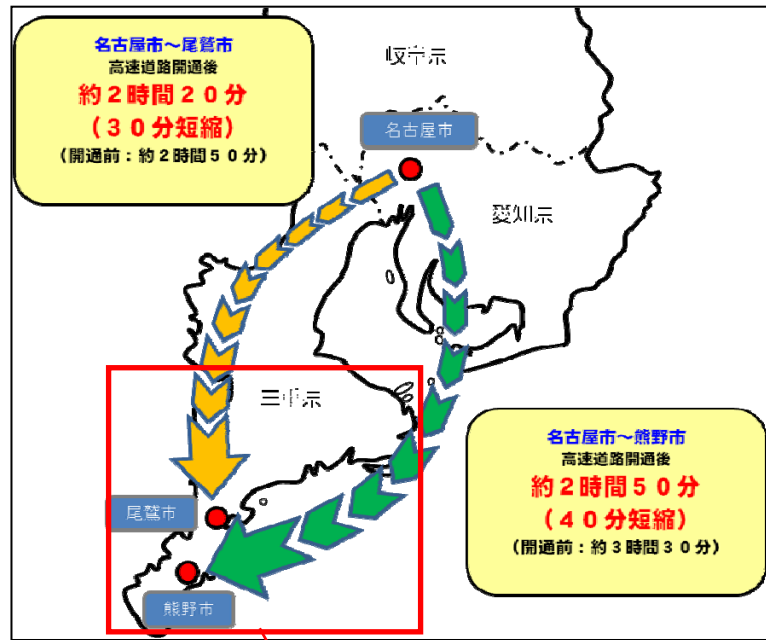
副所長（管理）：金田 達也（かなだ たつや）

調査設計課長：関 信郎（せき のぶお）

TEL：0598-52-5365 URL：<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisei/>

# 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路への緊急避難階段等への活用

紀勢自動車道及び熊野尾鷲道路では、津波発生時の地元住民の緊急避難や被災後の効率的な支援活動や交通の円滑な誘導などを図るため、13箇所の道路管理用施設において、緊急避難階段・緊急連絡路・緊急避難所の機能を持たして整備を行います。



## ■整備箇所一覧表

市町名	番号	地区名	道路管理用施設からの活用可能箇所			路線名
			緊急避難階段	緊急連絡路	緊急避難所	
北牟婁郡 紀北町	①	紀伊長島区東長島(山本工区)	○	-	○	紀勢 自動車道
	②	紀伊長島区長島(出垣内工区)	○	○	○	
	③	紀伊長島区加田(紀伊長島トンネル坑口)	-	○	○	
	④	紀伊長島区古里(古里第2トンネル坑口)	-	○	○	
	⑤	海山区馬瀬	-	○	○	
	⑥	海山区船津	○	○	○	
	⑦	海山区船津(高丸山トンネル坑口)	○	-	○	
尾鷲市	⑧	海山区便ノ山	-	○	○	熊野尾鷲 道路
	⑨	尾鷲市坂場西町	○	-	○	
熊野市	⑩	尾鷲市賀田町	○	-	○	熊野尾鷲 道路
	⑪	熊野市新鹿町	○	-	-	
	⑫	熊野市新鹿町(新鹿IC)	○	-	○	
	⑬	熊野市大泊町	○	-	○	



- 凡例
- - 緊急避難階段(通路)への活用可能箇所
  - - 緊急連絡路へ活用可能箇所
  - - 緊急避難階段と緊急連絡路の併設での活用可能箇所
  - - 津波浸水予測範囲  
(防潮堤等の施設を考慮しない場合)  
※三重県公表 津波の浸水予測より  
(平成23年10月速報版)

※平成24年1月末時点での整備概要であり、今後変更する可能性があります。

●整備中箇所（紀北町海山区船津）



●紀北町との協議状況（2 / 2（木）紀北町役場）



## 東日本大震災で三陸縦貫自動車道の果たした役割

■ 津波を考慮して高台に計画された高速道路が、住民避難や復旧のための緊急輸送路として機能。



### 三陸縦貫自動車道(開通率51%)の部分供用区間が、住民避難、復旧に貢献

- ・釜石山田道路 4.6km (H23.3.5開通)
- ・唐桑道路 3.0km (H22.12.19開通)
- ・宮古道路 4.8km (H22.3.21開通) 等

### <災害に強い高規格道路として>

- 救援・救助活動を支援
  - ・自衛隊等の緊急車両の到達を可能とし、沿岸市町村への 救援ルートを確保
- 復旧のための物資輸送道路として機能
  - ・食料、医療品、燃料等の救急救援物資を防災拠点、避難所に届ける緊急輸送路として機能

### <副次的にも機能する公共インフラとして>

- 発災直後の住民の避難場所として機能
  - ・宮古道路では、住民約60人が盛土斜面を駆け上がり道路に避難
  - ・釜石山田道路では、小中学校の生徒・地域住民が自動車道を歩いて避難

### 釜石市長の発言 (H23.4.12衆議院総務委員会より)

児童生徒たちは、高台への避難場所へ逃げた後、瓦れきで埋まり、また津波で破壊された国道45号で立ち往生することなく、この自動車道を歩いて市内の避難施設までたどり着くことができました。この地域の住民も同様であります。また、被災後はこの自動車道を通じて救急患者が搬送され、さらには避難所に救援物資を運ぶ道路として、まさに命をつなぐ道として機能したところであります。



釜石山田道路(自動車専用道路)を歩いて避難する住民